

エネ協よりお知らせ

「(仮称) 多摩の未来を拓く 2066 年(50 年後の未来を考える行動計画)」について、総会で活発な意見が交わされました。この研究会は多摩市の 50 年後の未来を描くことを共に考えようという取り組みです。『夢のようなこと』『あつたら良いなと思うこと』『たぶんあるはずだ』『無理かもしれない』『もしかしたら出来るかも』『大規模震災に負けない』『明るい未来』『・・・・』などテーマは多様です。まずは未来を考える場が生まれて、ゆっくりと続けていきたいと思っています。是非、参加してください。(言い出しっぺ：秋元孝夫)

■ 第一回『50 年後の多摩の未来を拓く』勉強会開催予定

● 7 月 2 日 12 時から 13 時 30 分(エネカフェは 14 時から、その前の時間)

『50 年後の多摩の未来を拓く』

研究テーマ	50 年後の未来を想定する施設や環境など
都市環境	エネルギー環境：エネルギー循環、再生可能エネルギー普及、省エネ、緑化、ゴミ、電気、ガス、下水道など 都市基盤：公共交通、道路、公園、河川、通信、供給処理施設、教育施設、福祉施設、商業施設、コミュニティ施設など 住宅ストック：分譲団地・マンション、賃貸団地・マンション・アパート、戸建て団地、戸建て住宅など
コミュニティ	多摩ニュータウン地域：広域コミュニティ、生活圏域、関係 4 市のコミュニティ、東京都の中の多摩ニュータウンなど 多摩市域：子育てのこと、老後のこと、自治体圏域のコミュニティ、拡大市域コミュニティ、市民活動の未来など 自治会、管理組合：近隣コミュニティ、団地内コミュニティ、地域地区のコミュニティ、自治会のコミュニティなど
地域経済	就業状況：家計の収入源、平均収入、年金レベル、副収入、就業率、就業者数など 経済循環：事業所状況、地域の産業、貯蓄水準、購買指数、消費マインドなど 自治体経済：住民市民税、固定資産税、都市計画税、自治体経営など